



# いりりコミュニティ通信

第6号  
発行元  
入谷小CS推進  
委員会編集部



ホームページ  
へのQRコード

## 入谷の伝統を受け継ぐ



小太鼓パート



笛パート



獅子パート



大太鼓パート



あやしパート



委嘱状交付の様子

### 今年度は3回の発表

6月13日(木)14時40分、今年度も地域の講師7名を迎え、入谷小学校の子供たちが入谷地区の伝統を引き継ぐ場となっている入谷打囃子学習会が始まりました。この日は年11回行われる学習会の開講式ということで町教育委員会を代表して入谷公民館長の山内信重様から各講師へ委嘱状が渡されました。講師の方々7名は、菅原文雄様、西城哲郎様、佐藤隆雄様、山内久吾様、山内泰法様、佐藤貞美様、山内登司子様です。秋の発表に向けて演技指導をしていただきます。子供たちは12月に行われる「子どもたちの郷土芸能発表会」を目指して日々練習に取り組んでいます。また、「入谷秋まつり」(9月)、「学芸会」(10月)で披露される予定です。入谷の伝統を守り、続ける活動となっています。



摘果する箇所の見分けを教わっています



菊苗の植え方の説明を聞いてます

### 命の尊さを学ぶ時間に

6月13日(木)水口沢の西城正人さん宅を訪問し、2年生の生活科菊作りが始まりました。西城さんに菊作りをの講師をお願いして3年目となります。西城さんは花の栽培を通して子供たちに「自然を思いやる心や命の尊さを伝えていけたら」とお話くださいました。これから5ヶ月間の活動になりますがよろしくお祈りします。

### 食べ物を「くわん」から感じてほしい

6月12日(水)1年生は今年度2回目りんご栽培体験で阿部さんのりんご畑におじゃましました。今回は摘果作業の1回目です。阿部さんは30年以上に渡り子供たちりんご栽培の指導を行っています。摘果用ハサミの使用方の指導など1年生に分かりやすく説明し、安全に素早く作業をさせていきました。子供たちが食物が出来る工程を身近に感じ、将来は農業に携わってほしいという願いをもちながら指導をしているそうです。南三陸町の農業の発展は子供たちにかかっています。



体育館の引き渡しの様子



今回は幼児園職員も駐車場係を担当

6月7日(金)は年一回行われる『志津川中学校区引き渡し訓練』でした。子供たちは避難訓練の後、上学年が下学年をお世話しながらお家の人を待っていました。前号の通信でも記載したとおり「引き取ること」が目的ではなく各家庭でメールを受け取ったことと意思を訓練していただけたことと異なります。人間は、非常時は心に余裕がないので「練習したとおり」「訓練したとおり」「普段の行動のとおりにしか行動ができない」ということが分かっていきます。今回の訓練でも各学校の連携、保護者の皆様のご意見を伺いながら私たちが子供たちの安全を守り、保護者の皆様に安心していただけるような学校を目指していきたく思います。訓練のご協力ありがとうございました。

安心・安全な学校を目指し